

知床の森から

平成27年 7月 第146号



林野庁 北海道森林管理局
知床森林生態系保全センター
〒099-4355 北海道斜里郡斜里町ウトロ東番外地
(国設知床野営場内)
電話 0152-24-3466 FAX 0152-24-3477
ホームページ
<http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/siretoko/>

平成26年度もエゾシカ捕獲事業を実施し、121頭捕獲しました。

知床森林生態系保全センターでは、平成25年度から引き続き、エゾシカ捕獲事業を実施しました。平成26年度は以前より実施していた囲いワナの外に、モバイルカリング(銃猟の一手法※)等を行い、合計**121頭**のエゾシカを捕獲しました。

平成25年度の捕獲数41頭と比べ、大幅な捕獲数増加となりましたが、まだまだ植生への影響が懸念されている状況です。今後も知床の自然を守るための捕獲活動を実施してまいります。



囲いワナ捕獲は2箇所(125年度)から5箇所に増やして実施しました

※「モバイルカリングって何だろう?」
と思った人は次のページへ!



コラム:モバイルカリングとは?

Q:モバイルカリングとは?

モバイルカリングとは、車両で移動(モバイル)しながら、組織的かつ計画的な個体数調整(カリング)を行う捕獲手法です。

Q:流し猟(車で獲物を探す狩猟)とは何が違うの?

普通の狩猟では、道路(公道)からの発砲はできません(法律で禁止されています)がモバイルカリングでは道路の入り口と出口を封鎖し、関係者以外の立入りを遮断することで道路上からの発砲が可能となります。

Q:どんな手順でやるの?

- ①林道(道路)を下見をし、「シカを誘き寄せられそう」かつ「銃で狙いやすい」場所を選びます。
- ②選んだ場所にエサをまいて、シカを誘き寄せます(目安としてはおよそ1週間)。
- ③車に射手を載せて、エサ場に来たシカを車上などから発砲して捕獲します。

Q:モバイルカリングの良いところ、注意点は?

<良いところ>

囲いワナ(※)のように建築物を立てる必要がないため、比較的小金がかかりません。また、囲いワナは一度立てると捕獲場所の移動が難しいですが、モバイルカリングは毎年適切な場所で捕獲が可能です。

<注意点>

銃を使う捕獲方法なので、徹底した安全管理が必要です。また、知床半島のように希少鳥類が多い地域では、銃声で驚かすことで、営巣を邪魔しないよう配慮する必要があります。

モバイルカリングの様子



※囲いワナについては、『知床の森から(144号)』でくわしく説明しているよ!



エサをまいて...



車に乗って捕獲に出発!



シカを誘き寄せ...



シカは回収して食肉加工業者へ引き渡します

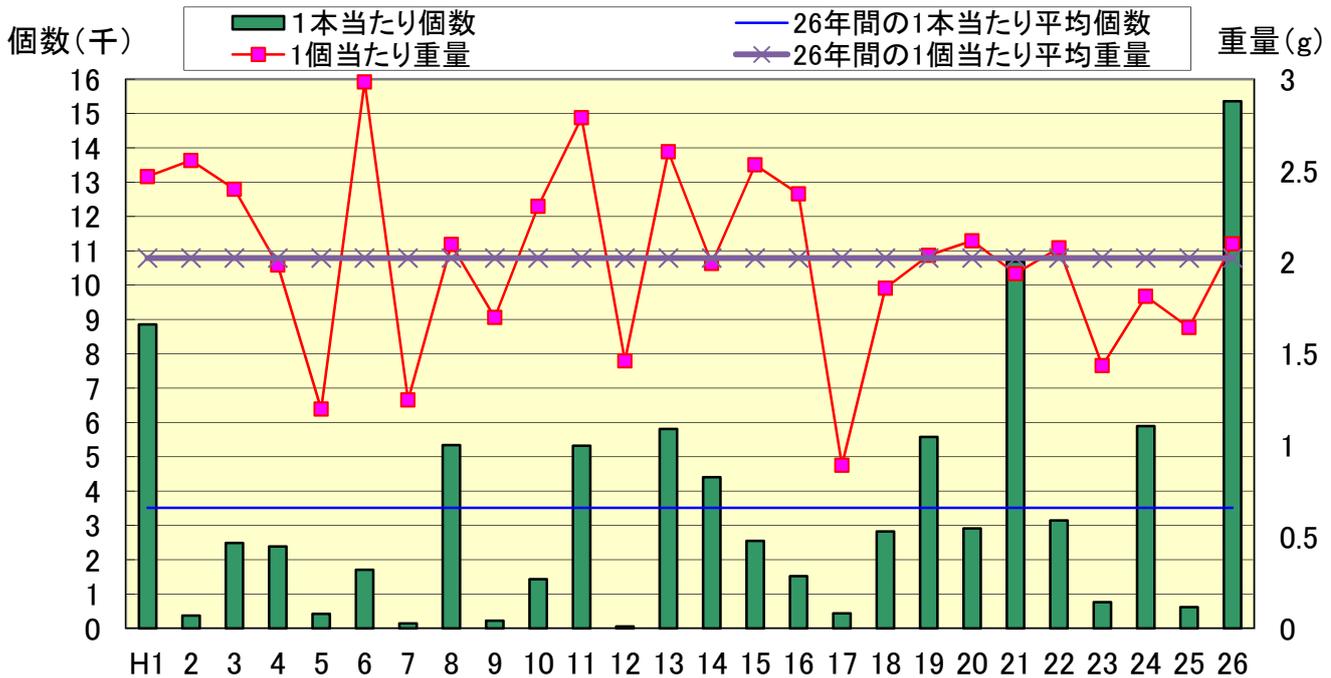
どんぐり大豊作でした

当センターでは知床を代表する「ミズナラ」の生態把握を目的に、平成元年より毎年ミズナラ堅果(どんぐり)の結実状況を調査しています。

平成26年度は調査開始以来の最大個数を記録し、大豊作という結果になりました！どんぐりは、ミズナラの更新だけでなく、ヒグマやリス、タヌキなど動物たちの重要な食料となります。

特に冬眠するヒグマにとっては、安心して冬ごもりができた年だったでしょう。

堅果個数及び重量の推移



コラム:ミズナラ堅果結実調査とは?

ミズナラの結実には年ごとに豊凶(多く実る年と少ない年)があります。毎年の結実量を調べるため、知床の岩尾別地区とイダジュベツ地区に計25本の調査木を設定しています。毎年9月上旬に、大きさ1㎡のシードトラップを調査木1本につき3つ設置(計3㎡)し、落下時期に当たる9月から10月にかけて落ちてくるどんぐりを毎週回収し、個数、重量等を計測しています。



設置されたシードトラップ



一つ一つ重さと大きさを計測します
中に入ったどんぐりを回収して...



知床のサケと河川ダム



知床世界自然遺産地域内では43の河川のうち、14河川に122基(平成27年7月現在)の河川工作物(ダム、横断工)が設置されています。これらの工作物は、土砂が海に流れることによる漁業被害を防ぐなど、重要な役割を果たしていますが、一部の河川工作物はカラフトマスやシロザケの遡上を阻害していることを国際自然保護連合(IUCN)らから指摘されていました。

林野庁が管轄の5基を含め、関係行政は平成24年度までに合計13基の工作物を、魚類が遡上できるよう改良しました。

ダム改良例(イフウベツ川支流)

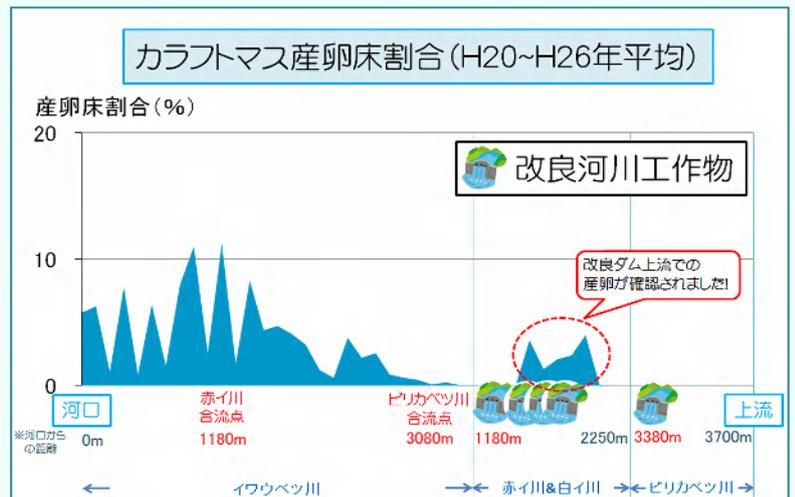


改良前: 段差が高くサケ類の遡上が難しい状態です。



改良後: 段差を切り下げ遡上を容易にしました。

当センターでは、イフウベツ川に設置されている上記河川工作物において、改良効果検証モニタリングを平成20年度から実施しており、これまで改良工作物上流での産卵床を多数確認しています。



※この調査の詳しい情報は、**知床データセンター**→調査研究→行政機関事業報告書 (<http://shiretoko-whc.com/research/report.html>) をご覧下さい。

ボランティア活動施設のご案内

◆7月11日～8月31日 (休館日:なし)
月・火・木・金 午前9時00分～午後6時00分
土・日 午前9時00分～午後7時00分

◆9月1日～9月30日 (休館日:なし)
月・火・木・金 午前10時00分～午後5時00分
土・日 午前9時00分～午後5時00分



☆知床森林生態系保全センターでは、「ブログ・知床の四季」で情報をお届けしています！
→<http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/siretoko/index.html>